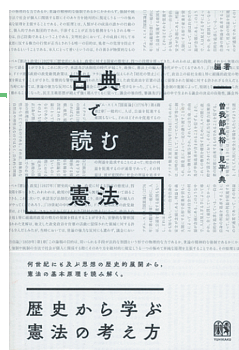


古典で読む憲法

曾我部真裕 = 見平 典 編著

2016年3月発売 / 358頁 / 本体2500円+税
四六判 / 並製



編集
担当者
から

自由、平等、権力分立、……。21世紀に生きる我々が、なかば自明のものと感じがちな憲法上の諸原理。これらは、紀元前の世から当然のようにそこにあったわけでも、ここ数十年に突如出現したわけでもありません。連綿と続く歴史のなかで、幾多の思想の相克を経て、そして時には流血の悲劇も目撃しながら、生まれてきました。

本書は、思想家による古典的な文献を紹介しつつ、そのような諸原理の誕生と発展の過程をひもといていきます。「古典」といっても、単に古いという意味ではありません。繰り返し参照され、批評の風雪に耐えてきた、というような意味合いです。

憲法は、「政治的」文脈で語られることが頻繁にあるからか、一家言持つ人も多い分野です。しかし、それゆえにこそ、(憲法に対しどのようなスタンスを持つにせよ) もう一步進んで、その背景に目が向けられるようになると、憲法をめぐる議論がより充実するのではないかと思います。その一助となれば、担当編集者としても望外の喜びです。(M.Y.)

Index

I

オーソドックスな構成のため、一般的な憲法概説書との相性もよく、副読本としても使えます。

第 I 部 総論・統治

- 第 1 章 立憲主義
- 第 2 章 国民主権
- 第 3 章 権力分立
- 第 4 章 民主政
- 第 5 章 議会
- 第 6 章 政党
- 第 7 章 議院内閣制
- 第 8 章 違憲審査制

第 II 部 人権

- 第 9 章 人権の観念
- 第 10 章 自由
- 第 11 章 平等
- 第 12 章 プライバシー
- 第 13 章 政教分離
- 第 14 章 表現の自由
- 第 15 章 結社の自由
- 第 16 章 経済的自由
- 第 17 章 財産権
- 第 18 章 生存権
- 第 19 章 教育を受ける権利
- 第 20 章 参政権